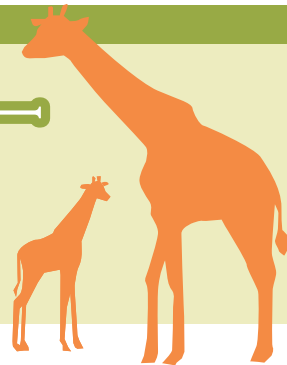


円山動物園 ニュースレター

遊びの広場をつくらう！



札幌市では、円山動物園の西門近くに、小さな子ども達が遊ぶことのできる広場を計画しており、現在、どのような広場にするか検討しています。

計画の進め方は、円山動物園職員と札幌市立大学の講師などのメンバーによる検討会を開催し、遊びの広場の計画を行います。また、札幌市民の皆様からの意見・ご要望をお聞きするため、アンケート調査のほか、イベント開催や園内へのブース設置を行っています。

第1回円山動物園遊具広場検討会が行われました。

去る7月21日（木）、第1回円山動物園遊具広場検討会が開催されました。始めに全員で現地を見学。広場の大きさや新しく建設予定のアフリカ館との位置関係などを確認してきました。次に、事前に行ったアンケート調査（一部抜粋を裏面に紹介）を基に、整備の考え方について話し合いました。



-----考え方のまとめ-----

- (1) 動物の行動や動きを活かした遊びができる広場
- (2) 多世代が楽しみ、交流できる広場
- (3) 動物について学び・知ることができる広場

この考え方を軸にすると同時に、「それらをどう伝えていくのか、遊ばせ方や子供の動き方のイメージをもっと深める必要がある」「子供たちが体から感じることのできる状況をどうやってつくるか、ということが重要」といった意見が出されました。飼育員の皆さんからは「どろんこになって動物のように遊んで欲しい」「動物のことを学んで欲しい」という意見が出されました。

また、「交流」という視点では、小さい子供から大人まで憩えるスペースの確保はもちろんのこと、年齢の異なる子供たちがお互いを思いやりながら上下の関係を築くことや、知らない子同士でも遊びを生み出し、協力遊びができる場であることが望ましいという意見にまとまりました。

大きな方向性としては「動物園らしさ」を感じる遊びの広場にすることで合意を得ることができました。次回は、イベントでのアンケート結果などをもとに、より具体的な遊具の提案をしていく予定です。

計画地位置図



遊びの広場ができるまでのスケジュール

■平成23年度

第1回検討会 7月21日（木）開催
「遊具広場」の基本方針について話し合われました。

「遊びの広場」イベント実施 7月30日（日）
仮設の遊具を置いて、子どもたちが遊ぶ様子を検証します。また、遊びの基本行動の中から子どもたちの好きな遊びをお聞きます。



第2回検討会
内容：遊具の提示と広場の平面図について検討

第3回検討会
内容：遊具の最終提案と遊具広場のとりまとめ

詳細の設計

■平成24年度

工事・OPEN予定

業務に関する
問合せ連絡先

札幌市みどりの推進部みどりの管理課（湯浅・長倉） TEL 211-2525
 <業務受託会社> (株)ライブ環境計画（寺山・河村） TEL 204-7922

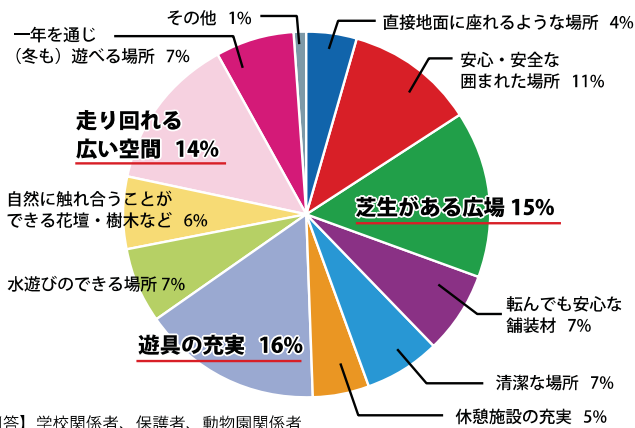
アンケート調査を行いました

検討を進めるにあたり、札幌市内の保育園・幼稚園・小学校（各2カ所）の教員の方々、「円山西町児童会館」の小学生の子供たちとその保護者の方々、円山動物園関係者を対象にアンケートを行いました。



アンケートの回答数：合計149票		
学校関係者	96票	
円山西町児童会館	子供	保護者
	26票	10票
動物園関係者	17票	

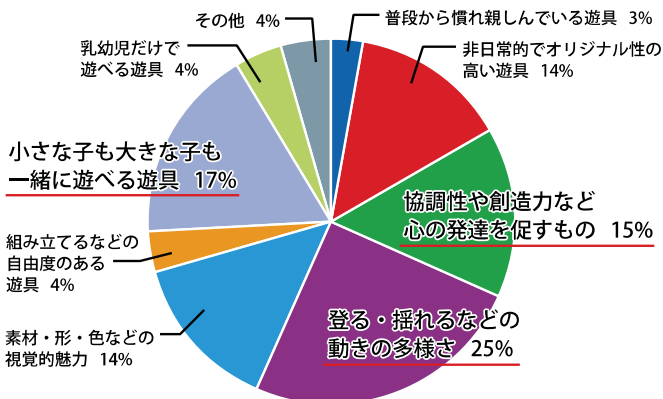
■あなたが考える「遊具広場」とはどのような場所ですか？



【回答】学校関係者、保護者、動物園関係者

「芝生がある広場」は学校関係者、保護者からの回答が多くみられました。保護者の方は「水遊びのできる場所」や「1年を通じ（冬も）遊べる場所」という回答が多く見られました。

■「遊具広場」に設置される遊具には、どのような配慮が必要だと思いますか？



【回答】学校関係者、保護者、動物園関係者

学校関係者は「小さな子ども大きな子ども一緒に遊べる遊具」が他より2倍以上の割合を占めました。保護者は「非日常的でオリジナル性の高い遊具」が約3割占めました。

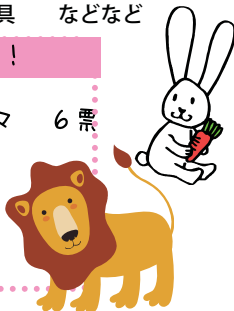
■寄せられた意見・要望など

- ・ 老若男女、親子づれが1日ゆっくり過ごせる場所
- ・ 子どもが楽しめる安全なもの、親子で楽しめるもの
- ・ 様々なゾーンをつかって異年齢が一緒に遊べる場所
- ・ せっかく動物園の中にできる広場なので、ぜひ遊具に動物の形や特徴などを取り入れてほしい
- ・ 子どもがワクワクし、動物好きになるような遊具 などなど

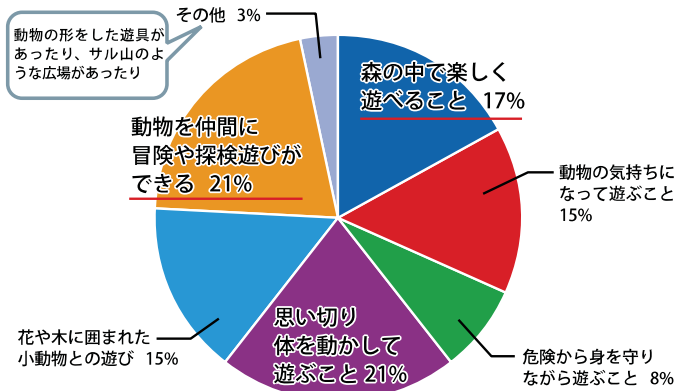
子どもたちが好きな動物ランキング！

- 1位 ウサギ 8票
- 2位 オオカミ、ライオン、シロクマ 6票
- 3位 レッサーパンダ 4票

子どもたちからは36種類の動物の名前があげられました。動物たちとは、おにぎりをしたり、背中（頭）に乗って遊びたいという意見が多く見られました！



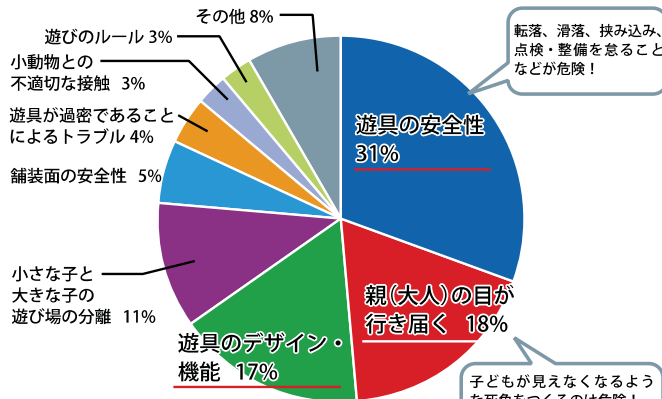
■円山動物園の「遊具広場」にふさわしい遊びのイメージとはどのようなことですか？



【回答】学校関係者、保護者、子ども、動物園関係者

学校関係者は「森の中で楽しく遊べること」、保護者は「動物を仲間に冒険や探検遊びができる」、動物園関係者は「思い切り体を動かして遊ぶこと」がそれぞれ一番多く割合を占めました。

■遊具広場で避けたいこと、危険だと思うことはどのようなことですか？（自由回答をカテゴリー分け）



【回答】学校関係者、保護者、動物園関係者

「遊具による怪我が危険」という回答が多く見られました。「金属などの冷たいイメージ」や「異年齢の遊び方の違いからくるトラブル、怪我」などといった意見がありました。

■まとめ

分類	出された意見・要望
空間	・ 芝生のある空間 ・ 走り回れる広い空間
遊具	・ 登る・ゆれるなどの動きの多様さ・動物の動き ・ 大きい子から小さい子までみんなで一緒に遊べる ・ 協調性や創造力など心の発達
施設	・ 日陰のある休憩施設（ベンチや水飲台） ・ 親の目が行き届くもの（死角をつくらない） ・ 柔らかい素材の舗装
植栽	・ 遊具自体が森や木をイメージするもの ・ 花や木に囲まれている
その他	・ 思い切り体を動かして遊ぶこと ・ 動物を仲間に冒険や探検遊びができる ・ 動物園らしさを出す



飼育員さんから
ひとこと

- ◎動物の実物大の大きさを知ってほしい、また、人間と同じように親に甘えるところがとてもいいですよ。
- ◎時折見せるかわいい、めずらしい、楽しい仕草をすることがあるので、何度も来園してじっくり観察して欲しい！
- ◎いろんな種類、それぞれの特徴的な動きも魅力ですよ～